



- 会長／中村文明
- 副会長／林 尚孝・高木克彦
- 幹事／小口 隆
- R 情報(会報)委員長／杉村邦彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2920 回例会 2020 年（令和 2 年）10 月 27 日(火)

点 鐘：中村文明 司 会：濱 俊弘  
斉 唱：我等の生業  
ラッキーNo：NO. 8 笠原新太郎

### 会長挨拶

本日は、11/10 ガバナー公式訪問に先駆けての、ガバナー補佐訪問の例会となります。

本年度のガバナー補佐は、当クラブの矢島進ガバナー補佐が担当しております。林幹事並びに副幹事の皆様、小口 I M 実行委員長、一年間の活動ご苦労も多いと存じますが、我々岡谷 R C メンバー一丸となり協力いたしますので、残り 8 ヶ月の成功を楽しみにしております。例会終了後のクラブ協議会と長丁場になりますが、よろしく願いいたします。

10 月は米山月間です。

2600 地区米山記念奨学委員会には小口裕司会員に出向していただいております。当クラブ山崎典夫米山記念奨学事業委員長から、先日米山の小冊子が配布され内容をご承知だと思いますが少々補足をさせていただきます。

公益財団法人ロータリー米山奨学会

ロータリーが共同で運営する民間奨学団体です。

日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給しており、国際奨学事業で国内最大規模の事業です。

「将来日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」1952 年東京 R C 「米山基金」がスタートです。日本の R C の創始者・米山梅吉・の生前の功労を称え命名。

2020 年度奨学生 883 名、事業費 14 億 6 千万円これまでの累計 2.1 万人全てロータリアンの寄付で賄われています。11/24 の卓話には、世話クラブ長野南 R C の米山奨学生「賈 伝艶 (カデンエン)」さんを予定しております。

### 幹事報告

- 次週 11/3 は休会です。

- 次回 11/10 はガバナー公式訪問となり、会場はメモリーですのでお願いします。

## 委員会報告

社会奉仕委員会 10月18日(日)の諏訪湖一斉清掃には、早朝より大変多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。



### 国際ロータリー第 2600 地区 諏訪グループガバナー補佐 矢島 進様

年度当初、7月13日のエコーRCに始まり、今日の岡谷RCの訪問で諏訪グループ7クラブのガバナー補佐訪問が終了します。全てのクラブにご同行いただいた林裕彦幹事はじめ、今日まで私を支えていただきました皆様に感謝申し上げます。

諏訪グループ内では、どのクラブも地域色を反映した事業をされており、会員の皆さんからは、自クラブに対する誇りと愛着が伝わり、それぞれの地域にRCが存在する事は地域の活性化に一役買っていると思えました。一方、全クラブの懸案事項は会員増強であります。時代背景もあると思えますが、皆さん大変苦慮されておりました。もう一つの課題はコロナ禍であります。後ほど触れさせていただきます。それでは、これから成田守夫ガバナーのメッセージ紹介をさせていただきます。

国際ロータリー第2600地区  
成田守夫 ガバナーメッセージ  
2020-2021年度

ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーから信州を元気にする  
そのために地域の魅力を語り合う  
社会に変化の種をまく

■ ロータリーのビジョン声明 ■

私たちは 世界で、地域社会で  
そして自分自身の中で  
持続可能な良い **変化を生むために**  
人びとが **手を取り合って**  
**行動する** 世界を目指しています

■ ロータリーの戦略的優先事項の目的 ■


より大きなインパクトをもたらす	参加者の基盤を広げる	参加者の積極的なかわりを促す	適応力を高める
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリオを根絶し、残された資産を活用する</li> <li>・ ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる</li> <li>・ 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する</li> <li>・ ロータリーへの新しい経路を創り出す</li> <li>・ ロータリーの開放性とアビリティを高める</li> <li>・ インパクトとブランドに対する認知を高く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラブが会員の積極的な参加を促せるよう支援する</li> <li>・ 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する</li> <li>・ 個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する</li> <li>・ リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意欲を奨励する文化を築く</li> <li>・ ガバナンス、構造、プロセスを合理化する</li> <li>・ 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す</li> </ul>

■ ロータリーの中核的価値観 ■

親 睦  
高 潔 性  
多 様 性  
奉 仕  
リ ー ダ ー シ ッ プ


■ 四つのテスト ■

真実かどうか  
みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなのためになるかどうか

Rotary  ■ 地区戦略計画 ■


**パワーアップ2600**

- ・ 地区基盤の強化
- ・ 奉仕活動の拡大
- ・ クラブのサポート


Rotary  ■ 地区標語 ■

**Expand your world through Rotary**

ロータリーを通して  
あなたの世界を拓けよう

Rotary  ■ 地区活動計画 ■

- 1) 私たちは、「世界を変える行動人」として地域社会の振興を目指し、奉仕を通して未来のインパクトを直接もたらしていきます。
  - ・ 新入会員セミナーをクラブ、グループの実状に合わせて実施
  - ・ 会員研修・R L I 研修
- 2) 私たちは、手を取り合って世界的な課題の解決に取り組みます。
  - ・ クラブ、グループ間交流
  - ・ 地区委員会活動への参加・交流
- 3) 私たちは、事業・職業のリーダーや市民のリーダーとの親睦を深め高潔性を推進します。
  - ・ ローターから信州を元気にするため、地域の良きクラブの良さを再認識
  - ・ クラブ（直前・現・次期）会長・幹事で戦略計画作成
  - ・ 財団補助金事業の継続
- 4) 私たちは、共に地域社会と自分自身、そしてロータリーファミリーの未来にさまざまな形で変化を生み出していきます。
  - ・ ローターアクト、インターアクトへの理解と協力
  - ・ ライフの活動に協力
  - ・ 若者・家族・企業に理解される活動の推進

Rotary  《ロータリーの明るい未来を展望する》


ホルガー・クナー・クRI会長のテーマ  
『ロータリーは機会の扉を開く』

RID2600 地区標語 ガバナー・成田守夫  
『ロータリーを通してあなたの世界を拓けよう』


ガバナー補佐の皆さま 地区委員会の皆さま  
『信州から新たな奉仕の実践をめざす』

クラブ会長・幹事の皆さま  
『地域に活力と希望を創る』

2600地区 ロータリアンの皆さま  
『ロータリーから信州を元気に』

Rotary  《各クラブ・各地域の魅力を語り合うことで行動へ》

人が集まる(Together)と叡智が集まる  
↓  
2000人のリーダーの叡智ある実践は行動を呼ぶ  
↓  
各クラブの行動は地域を元気づけます  
↓  
元気は地域の魅力語り合う原動力となり  
**社会に変化の種をまきます**

Rotary 

2020-2021年度  
どうぞよろしくお願いいたします

只今、ガバナーからのメッセージをご覧いただきました。

先ほどのメッセージの中でガバナーが一番伝えたいことは「ロータリーから信州を元気に」であります。昨年10月17日に台風19号の千曲川大水害を目の当たりにしたガバナーは、ロータリーから信州を元気にできないかという思いに至ったようです。昨年度、地区内のRCから千曲川災害に支払われた義援金はマスコミベースで約1500万円であったようですが、ガバナーは金額の大きさはどうであれ、ロータリアンが地域を良くしようという気持ちが大切であると言われました。また「私共は新たな自律的な地域振興に向けて、ロータリーから信州を元気にする為、力強く行動して参ります。」と述べております。

当面の課題として、先の見えないコロナ禍は、全クラブ共通の課題であります。クラブ活動も制約を受けることが多く、過渡期を迎えている様にも思います。

私はクラブ計画書の中で「コロナ禍においては、既成概念を見直し、環境の変化に適応する組織が継続できる。そして、諏訪グループが連携を密にしてあらゆる難局に対し智慧を出し合い元気になる、諏訪地域が元気になることから信州を元気に」といった内容を書かせていただきました。



そんな経緯から、コロナ禍の今年度、7クラブは事業をどのように遂行し、所期の目標を達成しようとしているか、各クラブにて情報交換をしていただき、コロナ等の感染症や緊急事態でも、事業や例会を行えるような組織を強化して欲しいと考えました。

最近ではコロナ禍がオンライン化の牽引役となっておりますが、オンライン化を積極的に取り入れ、組織を強化されているクラブは諏訪湖RCです。例会への出席をオンラインで行うことを可能にし、会員間の交流もラインで行うなど緊急事態における体制づくりを構築しつつあります。諏訪グループ内でもオンライン化を推進するために、会長幹事会において諏訪湖RCの新体制を発表していただきました。温度差はあるものの諏訪グループ内のIT導入は確実に高まっております。

来る3月6日には、今年度のメイン事業となるIMを開催いたします。神奈川県出身のイルフ童画館の山岸吉郎館長さんに客観的視点から諏訪地域の魅力や強みを語っていただき一人でも多くのロータリアンに地域への誇りと愛着が増せば、おのずと諏訪地域が元気になり「ロータリーから信州を元気に」につながると思います。

開催に向けてはコロナ禍への対応として、三密を避けるためにメイン会場の人数制限を行います。全員参加を促すためにクラブ毎にオンラインを使ったサブ会場を設けてもらいます。

小口泰史IM実行委員長はコロナ禍であっても安全を優先し必ず実行すると決意を述べられました。役員一同は開催できることを信じIM実行委員長を中心に奮闘いただいております。この場をお借りし、改めて皆さんにはご協力をお願いします。

結びに、今年度はコロナ禍と共にロータリー活動を行ってきたと言っても過言ではありません。最近では、やり方次第で可能になる事業も多いのではと思っております。一言でいえばポジティブ思考と言うことですが、これから冬季に向けては予断を許しません。これからも7クラブが智慧を出し合い、より一層連携を深め、この難局を乗り切りたいと考えております。

私も後半に向け前向きにガバナー補佐を全うしたいと考えております。皆様には今後とも変わらぬご理解ご協力を申し上げガバナー補佐訪問とさせていただきます。



## ニコニコボックス

諏訪グループガバナー補佐 矢島 進 ・補佐幹事 林 裕彦

本日はどうぞよろしくお願いたします。

林 裕彦 皆さんのおかげで2回目の優勝をさせていただきました。ありがとうございました。

宮澤由己 皆様のお陰で準優勝させていただきました。ありがとうございました。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・江黒寛文・太田博久・大滝祐吉・大橋正明・小口国之・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・片桐伸介・小林大介・小宮山英利・佐伯克己・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮坂宥洪・守屋麻里・矢島 貴・矢島 実・山岡俊幸・山崎典夫

本日はガバナー補佐訪問です。皆様よろしくお願いたします。

## 出席報告

会員数48名、出席者40名、出席率83.33%

